



議会だより

# ヒーツンリ

TEL (0164) 68-7011 議会  
事務局 FAX (0164) 62-1278

北海道苦前郡羽幌町南町1番地の1

## □もくじ

9月定例会	P2	25年度決算審査	P3
意見書	P4	一般質問(金木氏)	P5
総務産業委員会報告	P6	文教厚生委員会報告	P7
TOPIC議会、選任・選挙、あとがき	P8		



「羽幌野球スポーツ少年団の練習風景」(南町グラウンドにて) (平成26年9月26日)

行動する議会を  
めざして!

ぜひ議会の傍聴に  
お越し下さい

次の定例会は  
**12月**です

議  
会  
日  
誌

7月		8月		9月	
2日	議会広報特別委員会	3日	道内行政視察(喜茂別町)	1日	第5回羽幌町議会臨時会
4日	北海道町村議会議員研修会(札幌市)	22日	総務産業・離島地区行政視察	18日～19日	留萌管内町村議会議員研修会(札幌市)
23日	総務産業常任委員会	25日～26日	文教厚生・離島地区行政視察	29日	議会運営委員会
31日	文教厚生常任委員会	18日	議会広報研修会(札幌市)	18日～19日	第6回羽幌町議会定例会
		17日～18日	議会運営委員会	17日～18日	決算特別委員会
			議会運営委員会		

◎報告－1件 ◎議案－10件

◎同意－2件 ◎諮詢－1件

◎認定－8件 ◎発議－3件

◎意見案－3件 ◎一般質問－1名

# 第6回定期会

平成26年9月17日～18日

から28日まで、財政健全化審査を実施した。算定等の基礎となる事項を記載した書類は適正に作成されている。

健全化判断比率	平成25年度	早期健全化基準	前年比
①実質赤字比率	— (%)	15.0 (%)	
②連結実質赤字比率	— (%)	20.0 (%)	
③実質公債費比率	11.4 (%)	25.0 (%)	0.8%減
④将来負担比率	— (%)	350.0 (%)	

財政の健全化判断比率  
公営企業資金不足比率



報告

- ①一般会計の実質収支額は黒字で、財政は健全
- ②一般会計、特別会計、公益企業会計を含むすべての会計の実質収支額は黒字で、財政は健全
- ③④どちらも基準額を下回っている

町監査委員により8月19日から28日まで、財政健全化審査を実施した。算定等の基礎となる事項を記載した書類は適正に作成されている。

平成25年度決算認定



認定

寿園地の単独住宅2棟2戸を用途廃止するため改正する。

単独住宅管理条例の改正



条例



平成25年度羽幌町各会計決算を審査するため、特別委員会（磯野直委員長）を設置し、決算審査を行う。

・一般会計

・国民健康保険事業特別会計

・後期高齢者医療特別会計

・介護保険事業特別会計

・下水道事業特別会計

・簡易水道事業特別会計

・水道事業剩余金処分・決算

・港湾上屋事業特別会計

・離島議長全国大会（東京都八丈町）

・良町村視察（東京都八丈町）

・留萌管内町議長会行政視察（新潟県）

・一般会計補正予算



補正

5493万円

・補正による主な事業

・道立病院ヘリポート

フェンス設置

90万円

・予防接種委託料

653万円

・めん羊牧場屋根の補修

234万円

各委員会の継続調査

議員の派遣



発委

所管事務について議会閉会中に継続調査を行う。

本町の懸案事項の要望、促進を図るためにや議員の研修会

並びに各常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の調査、研究のために12月までの間、道内外への関係機関に議員を

派遣する。

【主な派遣先】

・天売高等学校60周年記念式典・記念講演・祝賀会

・北海道離島振興、町村議会優良町村視察（東京都八丈町）

・離島議長全国大会（東京都八丈町）

・町村議長全国大会（東京都八丈町）

・留萌管内町議長会行政視察（新潟県）

・羽幌町教育委員会委員の任期満了に伴い、米谷日登美氏（新任）の任命を同意した。

・羽幌町教育委員会委員の任命

羽幌町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、茶谷政良氏（再任）の選任を同意した。

・羽幌町固定資産評価審査委員の選任

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の任期満了に伴い、村田菊男氏（再任）の推薦を諮問され同意した。

# 平成25年度 岁入・歳出決算を認定

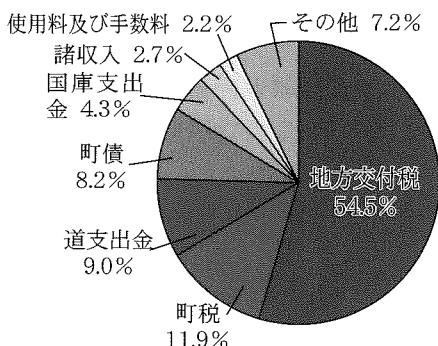
歳出 決算総額は **85億646万円**

一般会計 58億1298万円

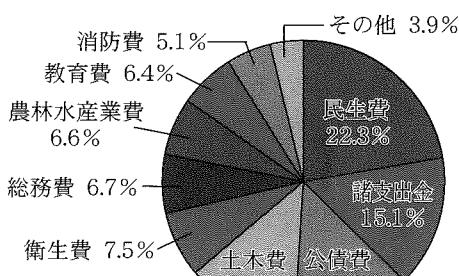
特別会計 26億9348万円

平成25年度各会計決算は、決算特別委員会に付託され、慎重に審議されました。一般会計、特別会計合わせて歳出決算額が85億646万円となり、歳入・歳出決算のすべてを原案のとおり認定しました。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	前年度歳出増減	採決結果
一般会計	60億2393万円	58億1298万円	1億6528万円増	全員賛成
特別会計	国民健康保険事業	11億9452万円	11億9250万円	2875万円増 全員賛成
	後期高齢者医療	1億888万円	1億880万円	426万円増 全員賛成
	介護保険事業	9億115万円	9億114万円	6252万円減 全員賛成
	下水道事業	4億3295万円	4億3292万円	4500万円減 全員賛成
	簡易水道事業	3795万円	3775万円	376万円減 全員賛成
	港湾上屋事業	2034万円	2034万円	2億3131万円増 全員賛成
合計	87億1974万円	85億646万円	3億5836万円増	一



一般会計歳入割合



公債費：町が借り入れた地方債の元利償還費と一時借入金の利息の合計

一般会計歳出割合

## 25年度決算審議の主な内容

※抜粋したもの

【質問】人づくり事業基金からの補助件数は。

【質問】人づくり事業基金からの補助件数は。

【総務課長】7件123万円。

【質問】港湾直轄事業で防波堤の整備を行っているが、冬期間にフェリーや高速船を避難させている状況である。現時点の評価と現状は。

【建設水道課主幹】40日間旧フェリーーター・ミナルに避難している。各所からの要望もあり、国とも協議をしている。

【町長】港湾事業はまだ残っている。今後も国とも協議を行いながら整備に取り組んで行く。

【質問】町はハートタウンは

【質問】町には多くの特産品があるが、ふるさと納税に活用していく考えは。

【総務課長】特産品などの特典や羽幌を訪れてくれるよう記念室の備品購入に当たられた。

【財務課長】基金は、それぞれの目的があり、積み立てて将来使うものである。決して楽な状況ではない。今後10年後20年と財政面で耐えられる状況を作っていくたい。

【質問】書の北溟記念室がオープンしたが、書に関心を持つ

【質問】町民の中には基金がある。33億円あるので、比較的楽な町財政と言われているが。【財務課長】基金は、それぞれの目的があり、積み立てて将来使うものである。決して楽な状況ではない。今後10年後20年と財政面で耐えられる状況を作っていくたい。

【質問】株主であり3セクであることから、関与したい。

【質問】株主として責任があり、積極的に意見すべきではないか。

【質問】会社側から再生会議で経営方針や役員人事、事業計画ができる後、臨時株主総会を予定していると聞いている。

# みんなの声を国政に

9月定例会と臨時会において、公益に関わる次の4件についての意見書が採択され、関係行政省庁に提出されました。

## ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める

### (要旨)

我が国において、ウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上とされるほど蔓延しているのは、国の責めに帰すべき事由によるものであるということは、肝炎対策基本法や「特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第IV因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法」等でも確認されているところでもあり、国の法的責任は明確となっている。

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る肝炎医療に対し、医療費助成制度を創設すること。
- 2 同肝患者に係る障害認定の基準を緩和し、患者の実態に応じた障害者認定制度とすること。

## 軽油引取税の課税免除措置の継続を求める

### (要旨)

この課税免除措置は、本町の基幹産業である農林水産業における作業用機械や漁船、離島航路を支える船舶、スキー場のゲレンデ整備車等にも活用されるなど、地域の幅広い産業の経営安定、収益向上に貢献してきた。 燃料価格が高止まりする中、課税免除が廃止されると厳しい経営環境に置かれている地方事業者への影響が懸念される。

国においては、軽油引取税の課税免除措置を受けている農林水産業者、索道事業者、船舶運航事業者等の経営が圧迫され、地域経済を支えている産業の衰退を招くことがないよう、軽油引取税の課税免除措置を継続するよう強く要望する。

## 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める

### (要旨)

地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進め、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

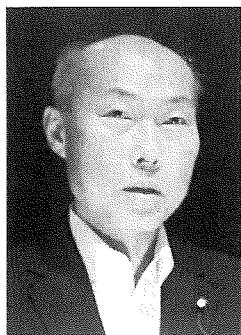
- 1 「森林整備加速化・林業再生基金」の継続またはこれにかわる恒久的な支援制度を創設するなど、林野関連施設の充実・強化を図ること。
- 2 國際的な気候変動対策の枠組みの合意ルールである森林経営による森林吸収量の算入上限値3.5%分を最大限確保するため、「地球温暖化対策のための税」の使途に、森林吸収源対策を追加するなどし、森林整備の推進等のための安定的な財源を確保すること。

## 「手話言語法(仮称)」制定を求める

### (要旨)

2006(平成18)年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。この条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、2011(平成23)年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。 手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することができる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。

金木直文議員



# 問 ハートタウン町有化後の影響、効果の検証を

## 答 活性化のための大きな作業

**【金木】**今期任期中の最後の定例会に先立ち、先月次期町長選には出馬しないとの意向を表明された。ハートタウンをはじめとする中心市街地問題は舟橋町政が残した宿題ともなるのではないか。

(1)本年3月定例会一般質問での答弁を踏まえて、さらにハートタウン問題及び中心市街地活性化に係る施策についてどう評価しているか。

(2)ハートタウンを初めとする中心市街地活性化に係る今後の課題をどう考えているか。

(3)ハートタウン町有化の事例に見るようく町民や議会の間でも大きく意見が割れる問題について行政はどう対応すべきと考えるか。

**【町長】**(1)町が主体となり、実施予定であったハード事業について、関係機関との協議までとなつたことや、商業複合施設ハートタウンはぼろを核とした事業をTMOや商工会と連携しながら展開できなかつたことには深く反省をしている。施設内にキーテナントが不在となつてから約2年間と今日の状況を顧みたとき、本施設が中心市街地の核とし

もなるのではないか。

(1)本年3月定例会一般質問で中心市街地活性化に係る施策についてどう評価しているか。

(2)ハートタウンを初めとする中心市街地活性化に係る今後の課題をどう考えているか。

(3)ハートタウン町有化の事例について行政はどう対応すべきと考えるか。

**【金木】**(1)町が主導となり、団体によるまちづくり」を追求してきたところであり、議会はもとより、協働のまちづくりとして行政への積極的な市民参加を促進するための町政懇談会やふれあいトーク、各種行事での貴重な意見や



**【金木】**ハートタウンにキーテナントが入ったことで、他のスーパーや小売店では売り上げが落ち、キーテナントでも売り上げ目標に届いていないと漏れ聞いている。町有化

**【産業課長】**資金として約500万円が残っていると聞いている。

**【金木】**町出資の2000万円についても町民に説明しなければ大きな問題だ。

て地域にぎわいや活力を与えていることを改めて実感し、今後の活性化に向けて一定の成果があつたと考えている。

(2)中心市街地のにぎわいは、以前に比べ取り戻せているものの、人の流れについては、狭い範囲に限られているようにも感じている。中心市街地を活性化させるためには、点だけではなく線や面での集客を考える必要がある。町なかに戻った人の流れを周辺商店街にも広げ、さまざまな個店にも波及させるため、今以上に商工会をはじめ各商店街とも連携し、一過性の事業だけではなく、長期的な事業を継続的に実施するなど、年間を通じて町なかに人の流れを生み出す取り組みを積極的に推進することにより、活性化が図られるものと考えている。

(3)私の行政運営の基本スタンスである「町民と目線を同じくし、町民と情報の共有と対話によるまちづくり」を追求してきたところであり、議会はもとより、協働のまちづくりとして行政への積極的な市民参加を促進するための町政懇談会やふれあいトークによる調査、検証が必要ではないか。

**【町長】**活性化の方向性を求めるためにも、内容の精査、調査等は必要。活性化のための振興策への取り組みとしての格差が明らかとなつた。今すぐにでも協議、検討が必要ではないか。

**【金木】**入居テナント賃貸料の算定等は検証していくが、3年以内の改定は契約の趣旨から離れて難しい。

**【産業課長】**テナント料の再算定等は検証していくが、3年以内の改定は契約の趣旨から離れて難しい。

**【金木】**ハートタウンの個人所有となっている土地を町で買い取る準備を進めているというが、どういう状況なのか。**【財務課長】**2名の所有者がおり、(うち一人と)将来購入を前提に交渉している。もう一人についてはこれから交渉と考えている。

**【金木】**ハートタウンの資本金6000万円は現在どうなっているのか。

**【産業課長】**資金として約500万円が残っていると聞いている。

**【金木】**町出資の2000万円についても町民に説明しなければ大きな問題だ。

# 公務員常任委員会

(7月23日開催)

## ◆公共施設マネジメント計画

〈担当課の説明〉

- ・公共施設マネジメント計画とは（公共施設の保有量及び性能の最適化を目的とする計画）、昭和40年台の人口増加等で建設された施設の老朽化は、全国的な課題、計画策定経費は、H26(28特別交付税措置1/2あり)平成28年度策定に向け着手する。
- ・計画期間は30年
- ・10年単位で実施計画をローリング
- ・30年という長い期間の中での町の情勢変化を慎重に見極める必要がある。

## 〈主な協議内容〉

- ・人口推計に従えば縮小の方向となるが、町が衰退しない方策等も並行して考える必要がある。
- ・今後、計画が具体的になつた都度協議することとして協議を終えた。

今後の進捗を見ながらの継続協議として協議を終えた。

(8月18日～19日開催)  
◆離島地区行政視察

## 《焼尻地区》

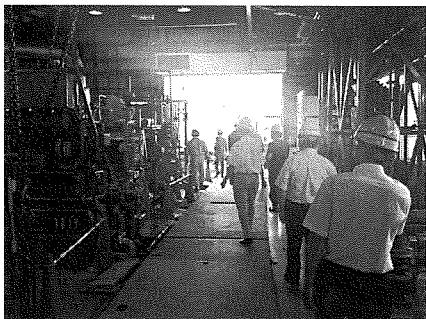
- ・北るもい漁協焼尻支所製水施設
- ・焼尻めん羊牧場基地、草地改良箇所

《天売地区》

- ・人口構成と推移予測、定住促進、産業振興、雇用対策
- ・住宅状況調査（相影側から改良箇所）
- ・空家状況調査（相影側から前浜まで）
- ・天売研修センター



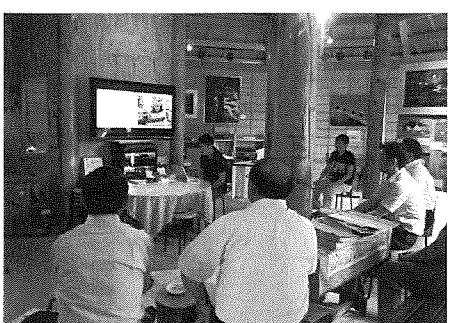
めん羊牧場の草地改良



焼尻発電所



天売の空家状況



海の宇宙館にて説明を受ける

した。現地で見て、聞いてみなければわからないことがたくさんあり、多くの課題と若く新しい動きを知ることができました。今後の議会活動に活かしていきたいと思います。

## ■議会閉会中における 継続調査及び審査事項

(10月～12月)

- |                        |                     |                    |
|------------------------|---------------------|--------------------|
| ・同法人との懇談               | ・天売ちびっ子ランド（民間保育所）視察 | ・留萌地域電算協同化推進協議会の設置 |
| ・天売高等学校（学校の概要等説明、校舎視察） | ・除雪業務の契約            |                    |
| ※漁協視察を予定していたが、ウニ漁により中止 |                     |                    |
| ・緊急を要する所管事項            | ・人口減少社会における地域活性化    |                    |

2年前と今回2回目の離島視察は各委員会ごとに行いま

# 文教厚生常任委員会

(7月31日開催)

## ◆就学前施設のあり方

町立羽幌保育園視察の後、議員控室で担当課による説明を受け協議を行った。

（担当課の説明）

・施設の概要

昭和43年建築開園、建物面積390m<sup>2</sup>、建築費110万円ほか



町立羽幌保育園

境を最大限整えるべき。

・職員 羽幌保育園9名、子育て支援センター3名、うち1名併任により計11名

・児童数 25人

・平成25年4月時点では、新規の入園募集をやめて、在園児が卒園する3年後ぐらいをめどに閉園の方向で考

今後、次年度の動向等が明確になった場合に、1～3ヶ月での調査を考えることとして協議を終えた。

## ◆公園長寿命化計画

公園長寿命化計画は、町の都市公園を全て対象とするものだが、発端が羽幌公園（スポーツ公園）等で、今期中は

・平成26年4月、羽幌産廃処理協同組合設立（23社）  
・施設規模 9万m<sup>2</sup>を7万5000m<sup>2</sup>へ縮小

（主な協議内容）

・「認定こども園・まき」開設による変化（就園率、羽幌保育園への新規入園数等）

・在園する児童のために環

## ◆産業廃棄物処分場

（担当課の説明）

・処分場用地は、4候補地から1ヶ所に絞った。

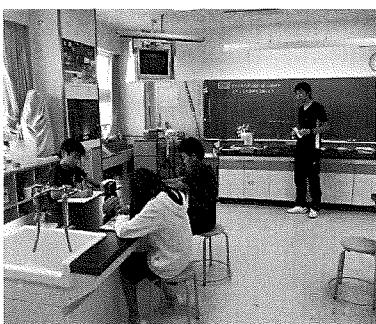
・天売ちびっ子ランド

・天売小中学校

・住宅状況調査

・赤岩展望台、ノゴマ館、フットパス

・26年5月～27年3月、実施



天売小中学校視察

## ◆離島地区行政視察

（8月25～26日開催）

・野球場のトイレは整備を優先し、かつ全面改修すべき。

・00万円は、ごく簡易な整備を想像するが、ある程度しつかりした整備が必要。

・陸上競技場は、利用の状況等を見極めた上で検討されたい。

## ◆天売地区

- ・高齢者支援センター
- ・天売診療所
- ・天売ちびっ子ランド
- ・天売小中学校
- ・天売高等学校
- ・住宅状況調査
- ・赤岩展望台、ノゴマ館、フットパス

■議会閉会中における  
●継続調査及び審査事項

（10月～12月）

・天売高校の今後  
・産業廃棄物処分場

・介護保険事業

・臨時福祉給付金等

・緊急を要する所管事項

修等費用 総額2億517万円（概算）

・社会資本整備総合交付金50%交付

・レストパークは危険箇所を優先して補修

・スポーツ公園は、園路（公園内道路）、管理事務所の更新、池の護岸更新等が主なもの。

・22年度以降、廃棄物量が半減している要因は、金属やコンクリートの再生利用の促進や再資源の事業者が1社参入して3社になったことが考えられる。

・29年度、供用開始  
（主な協議内容）

・過去の施設、今後の施設も周辺町村からの廃棄物を受け入れる。

・焼尻地区有志との懇談

・焼尻めん羊牧場基地、牧場

・白浜海水浴場

・高齢者支援センター

・焼尻小中学校

・焼尻郷土館

・天売地区有志との懇談



焼尻地区有志との懇談

## 《焼尻地区》

・住宅状況調査

・焼尻地区有志との懇談

・焼尻めん羊牧場基地、牧場

・白浜海水浴場

・高齢者支援センター

・焼尻小中学校

・焼尻郷土館

・天売地区有志との懇談

・焼尻地区有志との懇談

# 内灘町議会議員、視察研修で来町 夷藤議長「医療連携で関係深まれば」



内灘町議会議員来町を記念して

夷藤満議長（定数16人）の二つの常任委員会合同による視察研修として羽幌町を訪れたもので、役

内灘町議会（定数16人、夷藤満議長）の二つの常任委員会合同による視察研修として羽幌町を訪れたもので、役

内灘町との姉妹都市である石川県内灘町から9月24日、13人の町議と2人の議会事務局職員、計15人の一行が羽幌町を訪れました。

場前に到着した一行を歓迎して夷藤議長に花束が贈呈されました。さっそく一行は歓迎式に臨み、室田議長から歓迎のあいさつを受けた夷藤議長は、医師不足に窮している当地を思い、道立羽幌病院が内灘町にある金沢医科大学病院の初期臨床研修の協力病院に決まったことから、「医療連携で交流を深めながら医師不足解消に少しでもつながることを願います」と

場前に到着した一行を歓迎して夷藤議長に花束が贈呈されました。さっそく一行は歓迎式に臨み、室田議長から歓迎のあいさつを受けた夷藤議長は、医師不足に窮している当地を思い、道立羽幌病院が内灘町にある金沢医科大学病院の初期臨床研修の協力病院に決まったことから、「医療連携で交流を深めながら医師不足解消に少しでもつながることを願います」と

あいさつしました。このあと、議会棟内で議場などを見学しました。

翌25日には、ライスター・ミナル、フェリータル、道立羽幌病院、海鳥セントラルなどを視察。

道立羽幌病院では事務長らからの説明を受けながら病院内の施設を見て回りました。この日、外来診察の担当で多忙の奥雅志院長も診察の合間に縫つて対応しました。この一行は町内で昼食をとった後、次の視察先である猿払村へ向かいました。

○地方議員の「座右の書」といわれる「議員必携」には、「議員が行う質問や質疑・討論は、同時に住民の疑問であり意見であり、表決において投する一票は、住民の立場に立つての真剣な一票でなければならない」とあります。

○新たに加わる議員とともに、残る期間、職責を全うしたい。



道立羽幌病院視察



議場見学

**【選任・選挙】**  
10月1日に臨時会が開催され、議員辞職に伴い欠員となつた監査委員と衛生施設組合議員の選任と選挙が行われました。新たに決まった議員は次のとおりです。

・監査委員  
熊谷 俊幸 氏  
・衛生施設組合議員  
小寺 光一 氏

△あとがき△

○間もなく町長選と町議補選が戦われます。

○今期議員の任期も残すところ、あと半年。住民のみなさんからの負託を受けての議員活動がどうであったか。それが振り返る時期となりました。